

帯広市広報マスコットキャラクター

しらかんば の もくいく通信

©帯広市2021

つうしん



帯広市では子どもたちに幼少期から木や森に親しんでもらい、豊かな心をはぐくむことを目的とした木育（もくいく）推進事業※¹に取り組んでいます。
この度すいせい保育所に、身近な木で製作した木製品※²を設置しましたので紹介します。

収納棚



設置場所に合わせて製作した収納棚2種類です。天板はハルニレ、背板はハリギリ、その他の部分はシラカバでできています。

ベンチ&ベッド（大&小）



ベンチとして使えるほか、逆さにすると人形のベッドにもなります。座面はハリギリ、側板と丸棒はハルニレ、幕板はシラカバでできています。

おままごとキッチン



作業台、背板、棚板はハリギリ、蛇口はハルニレ、側板はハンノキでできています。幕板と飾り棚はシラカバです。



ほっかいどう き つか
北海道の木を使って、
しない しよくにん
市内の職人さんがつ

くってくれたよ！



令和8年9月18日に贈呈式を行いました。製作者の方から使った木の説明などをしてもらったあと、木育マイスターの方と一緒に木育活動を行いました。中央公園の林を歩きながら、木の実や葉っぱなどを集めて、「森のお弁当」を作りました。大きな木を観察したり、色々な形の木のタネについて教わりながら「具」を集めていくと、森の恵みが詰まった「お弁当」がたくさんできました。



この葉っぱは何枚
でしょうか？
(実は1枚だよ)

とっても大きな
ハルニレの木を
発見！



彩り豊かな「お弁
当」になったね！

※1 帯広市の木育推進事業は森林環境譲与税を活用して実施しています。
※2 木製品は順次市内の保育園等に設置を進めています。
※3 「木育マイスター」は、北海道に認定された木育の専門家です。

